

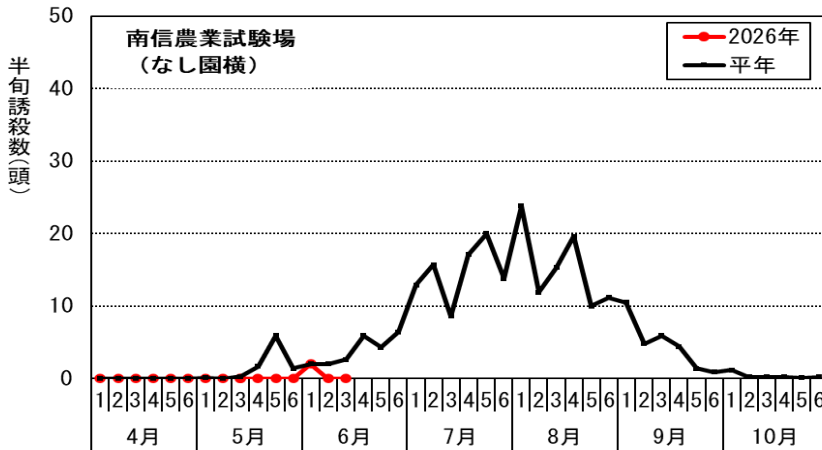
チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長 [令和8年(2026年)調査]

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

○県予察ほ（高森町・南信農業試験場）



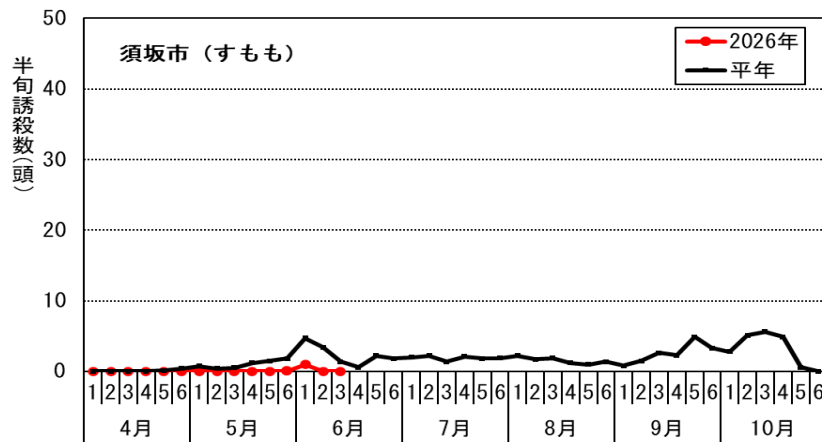
【調査地点】(標高 560m なし園隣接地)

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・場内に設置しているトラップには、今年度は6月第1半旬になって、初の誘殺が観察された。平年は5月のうちから徐々に増加していくが、本年の誘殺数はそれに比べると少ない。

○須坂市（病害虫防除部）



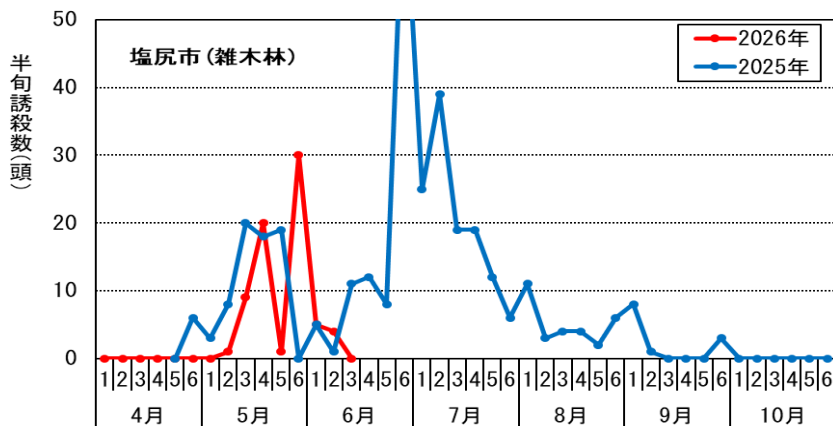
【調査地点】(標高 370m すももほ場)

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・高森町の県予察ほ同様、6月第1半旬に今年度初めて誘殺された。その後はまた誘殺がない。

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】(標高 560m 雑木林)

・2025年から設置のため、平年値なし
・雑木林内に設置

【コメント】

・雑木林に設置してある本地点では、今年度は前年よりやや遅く、5月第2半旬に誘殺が観察された。時期により誘殺に波があるものの、6月第3半旬までの誘殺総数は前年よりやや少ない。